

公立藤岡 総合病院

地域医療連携だより

病院の理念
患者本位の医療

基本方針

- ・患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
- ・地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
- ・急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実に努めます。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
- ・臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。
- ・地域医療支援病院として地域の医療人の教育・研修の充実強化に努めます。

読影医のご紹介

本年2月に外来センターの一般撮影装置を1台更新しました。これにより被ばく線量の低減がさらに図れます。また長尺撮影システムも同時に設置したので、脊椎および下肢の全長撮影が簡単に行えます。

4月からは放射線画像の診断医が2名常勤になりました。

この事によって放射線検査の質の向上が見込まれます。

今年度は外来センターのMRI装置の更新、健診センターの撮影機器の更新が予定されており、その後も時代の流れに遅れることなく、計画的に高度医療機器の導入を進めてまいります。

文責 診療支援部長 田島 信夫



シンゴ アキコ
神宮 晶子



モリヤ シンゴ
守屋 真吾

PSLS講習会 開催いたしました

先日、藤岡地域メディカルコントロール協議会主催による PSLS 講習会を当院で開催いたしました。

意識障害の原因として最も頻度の高い脳卒中に対する病院前救護について、医療関係者の観察と処置の標準化を図るために行っております。

来年も開催を予定しております。関係者の皆様のご来場およびご参加をお待ちしております。お問い合わせは、地域医療支援連携センターまで。



地域医療支援 連携センターより

日頃より、地域の医療機関及び福祉施設の皆様方には、当院の地域医療連携業務にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度より体制が一部変更となりました。本年度もよろしくお願いいたします。

副院長兼地域医療支援連携センター長

コウガ ヒデアキ
甲賀 英明

地域医療支援連携センター事務統括

ヨコサカ マサヒコ
横坂 政彦

地域医療支援連携センターグループリーダー

アオキ マサヨ
青木 雅代

(相談員)

アライ カズヤ
新井 一也

ユキ レイコ
柚木 礼子

タナカ ヒロカズ
田中 宏和

イノウエ トモミ
井上 智美

(外来センター相談員)

アライ ヨリミチ
荒井 頼道

(看護師)

イワイ タカコ
岩井 隆子

オオシマ チハル
大島 千晴

(事務)

アライ ミハル
新井 美春

新年度を迎えて

組合事業統括兼病院長 石崎 政利



日頃、病院運営につきまして、地域の皆様にご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。昨年度は消費税増税や診療報酬実質マイナス改定の中、病院にとって厳しい年でしたが、新体制の下、「新しい公立藤岡総合病院の創造」に向けて、病院機能再整備計画に取り組んで参りました。

現在、新病院建設の実施設計に取りかかっており秋まで完成させる予定です。また、外来センターの文化財発掘調査も予定通り進んでおります。

一方、病院機能の面においては、年度末に第三者機関による臨床研修機能評価、病院機能評価を受審し改善を進めて参りました。

また、4月から新規に放射線診断医が2名常勤となり、小児科、呼吸器内科、泌尿器科が増員されました。質の高い医療を効率的に提供できるとともに、地域医療連携も強化されるものと思います。

今年度の目標は病院の「未来をかたちに」することです。今年度は公立藤岡総合病院の10年・20年先を決める年であり、ハード・ソフト両面から一体改革を仕上げる年になります。「患者本位の医療」の理念のもとに、医療の質を高め、安心・安全な医療を提供していきたいと思ひます。

新入職員を含め、職員一同、今後も地域から信頼され選ばれる病院を目指し、地域医療の確保に努めてまいります。引き続き皆様のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。





新任挨拶

薬剤部長 オバタ テルオ 小幡 輝夫

4月1日より、薬剤部長を拝命しその責務の重さを実感しているところです。さて、医療の進歩はまた医薬品の進歩でもあります。新規医薬品は続々と開発されており、既存薬品では新たな効能が発見されたり、医療ニーズにより適応が追加になったりと薬物療法もまた進化してきています。このように日々変化する医療の中で、そのニーズに応えられるよう、より専門的な薬剤師の育成に力を注ぎたいと考えています。公立藤岡総合病院は、地域の中核病院としての機能を果たすべく職員一丸となってチーム医療をテーマに日々努力しております。このチーム医療の気運の中で可能な限り知識と良識を身につけ薬剤師としての職能を最大限に発揮し、地域の皆様に最良の薬物療法を提供できればと考えています。これからもご協力をお願い致します。



臨床研修機能評価に合格しました

公立藤岡総合病院病院長補佐・研修管理センター長 ツカダ ヨシタカ 塚田 義人

初期臨床研修制度の発足に伴い、当院でも平成16年から初期研修医を受け入れ始めました。近年は1、2年目の研修医を合わせ10名前後の研修医が常に在籍し、若い活力で診療に大きく貢献しています。平成26年度末までに合計27名の研修医を修了させ、地域医療の現場に巣立たせることができました。平成26年度マッチングでは募集定員を5名から7名に増やしたにもかかわらずフルマッチを達成し県内外の医学生からも注目される研修病院に成長したと自負しています。

当院の研修をより充実させるために、平成27年3月に卒後臨床研修評価機構(JCEP)の外部評価を受審しました。この評価は臨床研修のための施設の整備や指導の実態を詳細多岐にわたり専門家が厳しく審査するものです。当院の臨床研修の運営状況は高い評価を受け、無事認定証を獲得できました。認定施設はいまだ全国の研修病院の約2割に達しておらず、県内では当院と前橋赤十字病院のみです。この誇らしい結果に満足することなく、優れた医療人を藤岡の地から続々と輩出できるよう、スタッフ一同新たな覚悟をもって若手医師の育成に努力したいと思います。地域の医療機関の先生方におかれましてもよろしく応援のほどをお願い申し上げます。



研修理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割と医療チームの一員であることを認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けると同時に医療安全への配慮を身に付けることを基本理念とする。

基本方針

1. 基本的知識・技能・態度を習得する。
2. 患者中心の医療を理解し、実践する。
3. チーム医療の重要性を理解し、実践する。
4. 医療安全を深く理解し、実践する。
5. 医療人としての倫理観を養成する。
6. 地域医療の重要性を理解し、実践する。

今年度入職しました研修医です！ よろしくお願いします！



タカギ エイコ 高木 瑛子

藤岡には今まであまり縁がなかった私ですが、公立藤岡総合病院という、非常に魅力的な環境の下で研修できることを、とてもありがたく嬉しく思っています。皆様、ご指導宜しくお願い致します。



カネコ ユミ 金子 裕美

群馬大学からきました金子裕美と申します。出身は神奈川県小田原です。目の前の課題を、一つ一つ着実にこなしながら頑張っていきたいと思っています。



カナイ アンナ 金井 杏奈

岩手医科大学出身、地元は埼玉県本庄市です。剣道で培った根性で、2年間頑張ります。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



フナビキ リョウスケ 船引 亮輔

群馬大学からきました船引亮輔と申します。前橋市出身です。ご指導の程よろしくお願いいたします。



ワタナベ ヨシカズ 渡邊 嘉一

聖マリアンナ医科大学卒業の渡邊嘉一と申します。出身は伊勢崎市です。当院で研修医として働かせて頂けることに、大変喜びを感じております。精一杯努力していきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。



シュワウ アマネ 周藤 周

私は群馬大学病院所属ではありますが、一年間当院で研修させていただきます。一年間という短い期間ではあるからこそ、より積極的な姿勢で臨みたいと思います。



タカハシ リョウマ 高橋 怜真

知識も技術もない若輩者ですが、やる気と体力だけは誰にも負けないつもりです。何事にも全力投球で頑張っていきたいと思いますので、これからも宜しくお願いします。



ヤマモト ヒトミ 山本ひとみ

わからない事、悩ましい事は曖昧にせず、積極的に学ばせて頂きたいと思っています。精一杯がんばりますので、何卒よろしくをお願いいたします。